

プレス発表資料



平成 29 年 5 月 19 日
秋 田 大 学

教育文化学部附属中学校が公開研究協議会を開催

秋田大学教育文化学部附属中学校では6月2日（金）、保戸野キャンパスで公開研究協議会を開催します。

本研究協議会は秋田大学教育文化学部との共同研究の成果を公開し、秋田県における中学校教育の推進を目的に開催しております。今回は、大学関係者、県内外教職関係者及び大学生等の参加者が「高い志をもつ開かれた個」をテーマに授業参観や研究協議を実施するほか京都大学の石井英真先生をお招きし、資質・能力を育む授業の在り方についてご講演をいただきます。

附属中学校では平成 27 年度から 3 年計画で 21 世紀を生きる生徒達に必要な資質や能力の向上を目指す研究をスタートしております。最終年度である平成 29 年度は目の前の生徒の実態をもとに、教科等の特質を生かし向上させたい資質・能力を育んでいく協働的な学びの在り方に焦点を当てた実践研究に取り組んでおります。

今回の協議会を通じて、本校独自の協働的課題（問題）解決学習のプロセスを基に、共有した「問い」を協働的な学習を通して解決を目指し、終末場面では獲得した新たな価値観を踏まえ一人一人が学びを振り返る機会にしたいと考えています。

詳細は別紙をご覧ください。

【お問い合わせ先】

秋田大学教育文化学部附属中学校

TEL : 018-862-3350 FAX : 018-863-2507

平成29年度

公開研究協議会のご案内 (第2次)

研究主題 **高い志をもつ開かれた個**

3年次 (平成29年度) 研究副主題

社会に参画する主体を育てる協働的な学習の在り方

新緑の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日ごろより本校の研究推進のため、ご指導・ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、本校では21世紀を生きる生徒たちに必要な資質や能力の向上を目指す研究を平成27年度からスタートさせました。最終年次の今年度は、目の前の生徒の実態をもとに、向上させたい資質・能力を育てていく協働的な学習の在り方に焦点を当てた実践研究に取り組んでおります。

つきましては、下記のとおり公開研究協議会を開催いたします。ご多用の折とは存じますが、多数ご参会いただきご指導くださいますよう、お願い申し上げます。

秋田大学教育文化学部附属中学校長 川村 教一



● 開催要項 ●

- ◆期 日 平成29年6月2日 (金)
- ◆主 催 秋田大学教育文化学部附属中学校
- ◆共 催 秋田大学教育文化学部附属教育実践研究支援センター
- ◆後 援 秋田県教育委員会 秋田県中学校長会
秋田市教育委員会 秋田市中学校長会
- ◆会 場 秋田大学教育文化学部附属中学校
- ◆日 程

	8:45	9:10	9:40	9:55	10:45	11:10	12:00	13:10	14:50	15:10	16:30
受	全体会	移	公開授業Ⅰ	移	公開授業Ⅱ	昼	分科会	移	講 演		
付	校長挨拶 研究概要説明 (30)	動	教科A 特別活動 (50)	動	教科B 道 徳 (50)	食	各教科・領域 (100)	動	京都大学 准教授 石井英真 (80)		
		15	25	25	70			20			

公開授業

公開授業Ⅰ (9:55～10:45)

教科	学年・学級	単元・題材名と授業のポイント	授業者名
特別活動	1C	働くことと充実した人生の関わりー「人生の樹」を活用して ～新たな価値を見いだす話し合いと自己評価～	島田勝美
家庭	1D	食生活の課題と実践 ～自分や家族のための食事計画～	近藤史子
数学	2A	確率 ～宝くじのしくみを知り、その楽しみ方を考える～	渡邊博久
音楽	2B	我が国の伝統音楽の価値を受け継ごう ～言語活動と音楽活動を往還させながら音楽的価値に迫る～	江畑美香
理科	3A	地球と宇宙 ～月の見え方の違いを、天体モデルから探る～	菊地智則
美術	3C	ユニバーサルデザイン ～社会の中でどう役立っているのかを探る～	小柳紀恵子

公開授業Ⅱ (11:10～12:00)

教科	学年・学級	単元・題材名と授業のポイント	授業者名
保健体育	1A	フォークダンス ～動きの違い、文化の違いを味わい、交流する～	加賀谷武英
国語	1B	幻の魚は生きていた ～論理の展開を読み取るために、表現の工夫を吟味する～	牧留美子
英語	2C	Unit2 A Trip to the U.K. ～課題解決を目指した積極的なインタラクション～	原田由佳
道徳	2D	虎ー向上心・個性の伸長ー ～関わり合いの中で、ねらいとする価値に対する考えを広げる～	小熊大樹
数学	3B	標本調査 ～標本調査から母集団の傾向を予想する～	阿部文勇
社会	3D	第二次世界大戦と日本 ～多面的な見方で考え、自分の意見を表現する～	嵯峨隆之

講演

(15:10～16:30)

【講師】 京都大学大学院教育学研究科 准教授

いし いてる まさ
石井英真先生

【テーマ】 「今求められる学力と学びとはー資質・能力を育む授業の在り方ー」

【略歴】

京都大学教育学部卒業。

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了、博士（教育学）。

「真正の学力」、「教科する」授業、「パフォーマンス評価」をキーワードに、新たな学力と学びの形を実現する単元開発や教師の協働と成長を促す授業研究の手法の開発などを行っている。2012年より現職。専門は教育方法学（学力論）。

ー著書ー

『今求められる学力と学びとはーコンピテンシー・ベースのカリキュラムの光と影』

(著書 日本標準) 2015年

『増補版・現代アメリカにおける学力形成論の展開ースタンダードに基づくカリキュラムの設計』(著書 東信堂) 2015年

『中教審答申を読み解く』(著書 日本標準) 2017年

『教師の資質・能力を高める!アクティブ・ラーニングを超えていく「研究する」教師へー教師が学び合う「実践研究」の方法』(編著 日本標準) 2017年

『小学校発 アクティブ・ラーニングを超える授業』(編著 日本標準) 2017年 他、多数。

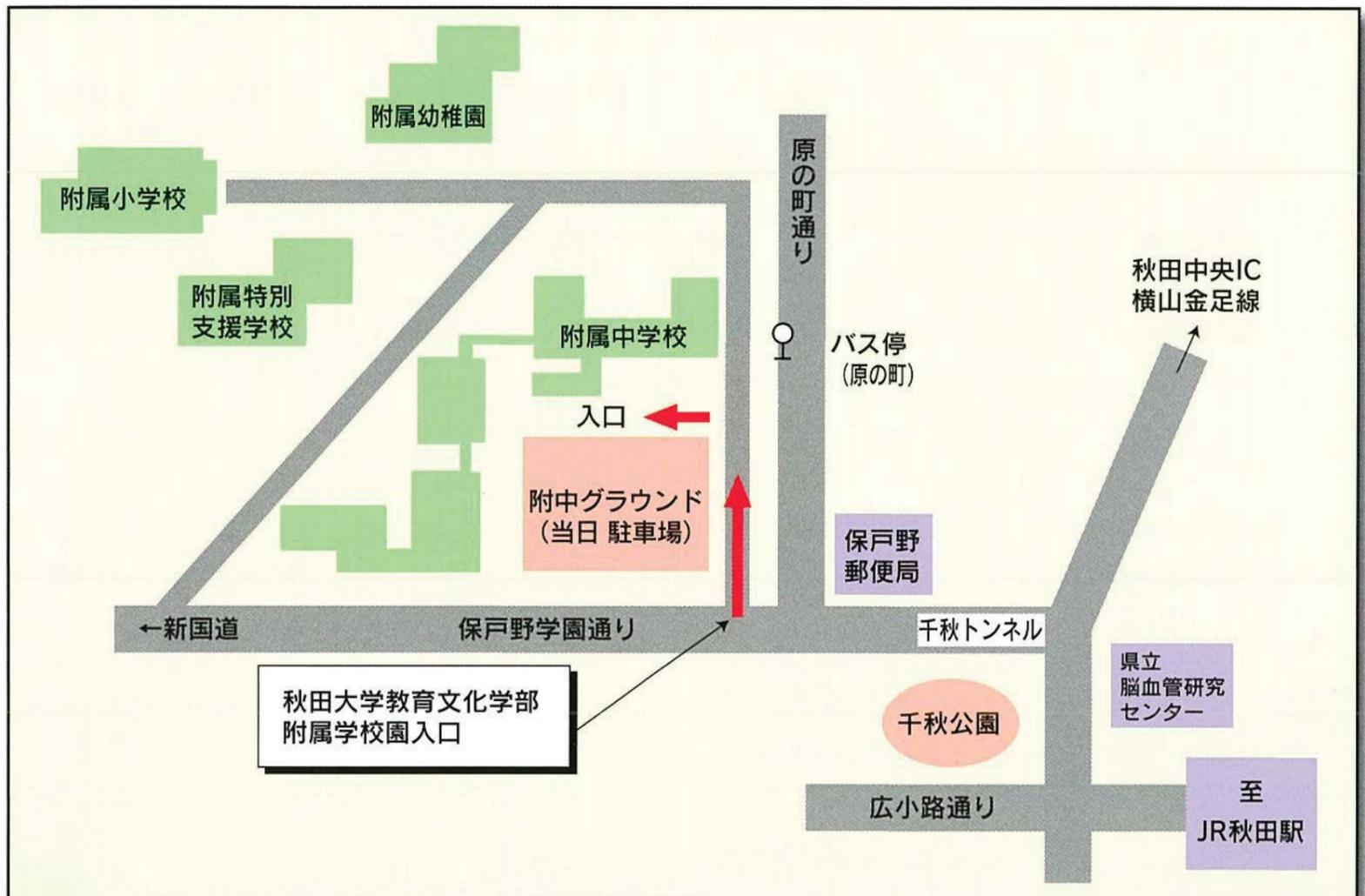


分科会の構成

分科会 (13:10~14:50)

分科名	研究テーマ	助言者	共同研究者	司会者	記録者
国語	主体的な読み手を育てる評価読みの指導 ～協働的な学習を通して、主体的に作品を読み深める力を育てる授業づくり～	加賀 秀和 (中央教育事務所 由利出張所)	阿部 昇 (秋田大学)	川原谷真理子 (城南中)	小松田ひかり (附属小)
社会	共に考えたい思いを高め、 未来を創出する力を育む指導 ～「問いの共有化」により、共に考える必然性が高まり、主体的に関わり合うことができる授業づくり～	津島 穰 (中央教育事務所)	外池 智 (秋田大学) 加納 隆徳 (秋田大学)	斎藤嘉余子 (城東中)	石井 史知 (附属小)
数学	問題解決を通して、 知を社会に活用する力を育む指導 ～問題解決と評価の積み重ねを通して、深い学びを実現する授業づくり～	倉田 和人 (中央教育事務所 由利出張所)	杜 威 (秋田大学) 佐藤 学 (秋田大学)	赤川 清仁 (勝平中)	松橋 純子 (附属小)
理科	自ら「問い」を見だし、 科学的に追究する力を育む指導 ～個々の考えの交流から、仮説を練り上げ、個の考察を深める授業づくり～	小玉 克男 (中央教育事務所)	林 信太郎 (秋田大学)	長岐 賢文 (泉中)	清水 琢 (附属小)
音楽	音楽のよさや美しさを感じ取り、 主体的に音楽を創造する喜びを実感できる指導 ～他者と協働しながら、よりよい音楽表現・音楽的価値を見いだす授業づくり～	三戸 智佳 (中央教育事務所)	石原 慎司 (秋田大学)	石川 弥生 (御所野学院中)	大山 光子 (附属小)
美術	感性を働かせ、個性を育む指導 ～関わり合いの中から、思いを深め表現する授業づくり～	菊地 邦彦 (中央教育事務所 由利出張所)	石井 宏一 (秋田大学)	菊地 篤 (雄和中)	進藤 亨 (附属小)
保健 体育	仲間と共に高め合い、 運動の特性に応じた楽しみを味わう力を育む指導 ～仲間との対話を通して、主体的に学びを深める授業づくり～	沼倉 友和 (中央教育事務所)	松本 奈緒 (秋田大学)	長沼 祥子 (秋田東中)	三浦 大介 (附属小)
技術 ・ 家庭	実社会を見つめ、 よりよい生活を創造する力を育む指導 ～関わりを通し、課題を主体的に捉える実践力を育む授業づくり～	渡邊 一幸 (中央教育事務所)	佐々木信子 (秋田大学) 堀江さおり (秋田大学)	三浦 陽子 (秋田西中)	石川 優子 (附属小)
英語	自他を理解し、 「市民」として課題解決に努める態度を育む指導 ～自他の関係の中で論点を捉え、発信と受信を通して課題解決する授業づくり～	伊藤 景子 (中央教育事務所)	佐々木雅子 (秋田大学) 若有 保彦 (秋田大学)	長崎美由紀 (山王中)	小室 真紀 (附属小)
道徳	自己を見つめ、 社会とつながる道徳的実践力を育む指導 ～生徒同士の「共感」から相互理解を深める授業づくり～	京野 真樹 (中央教育事務所)	小池 孝範 (秋田大学)	大野 恵子 (外旭川中)	保坂 智子 (附属小)
特別 活動	自他を認め合い、 集団の向上に尽くす態度を育む指導 ～自己表現への喜びをもとに、主体性を高め合うための話合いと実践～	小澤 進 (中央教育事務所)	森 和彦 (秋田大学)	葛西 武史 (下北手中)	佐々木雅巳 (附属小)

会場までの交通機関のご案内



- 路線バス：秋田駅から15分程度
・ 神田旭野線⑧ ・ 神田土崎線⑧ ・ 添川線⑧
バス停/原の町下車，料金220円

- タクシー：秋田駅から10分程度
：秋田空港から60分程度
- 徒歩：秋田駅から25分程度

参加申込方法

別紙払込取扱票に必要事項をご記入の上、費用を添えて郵便局に平成29年5月25日(木)までにお申し込みください。

払込取扱票が参加申込書になります。

払込取扱票をお持ちでない団体、個人様におかれましては、下記のE-mail(研究部)で、お名前、ご住所等をお知らせください。こちらから払込取扱票を郵送いたします。

昼食

昼食(お茶付き、税込み600円)を希望される方は別紙払込取扱票にて申し込みの上、当日受付で食券をお受け取りください。

参加費

●2,000円

別紙払込取扱票に必要事項をご記入の上、お振り込みください。

その他

- 生徒の写真及びビデオ撮影はご遠慮ください。
- 上履きは、各自でご用意ください。
- 駐車場を準備いたしますが、台数に限りがあります。乗り合わせてご来校いただければ幸いです。

● 問い合わせ先 ●

秋田大学教育文化学部附属中学校

〒010-0904 秋田市保戸野原の町7番75号
TEL 018-862-3350 FAX 018-863-2507
URL <http://www.jrh.akita-u.ac.jp>
E-mail (研究部) : kkb@jrh.akita-u.ac.jp

本校ホームページで公開研究会に関する資料を随時掲載していきますので、ご意見、ご質問がありましたら、Eメールでお問い合わせください。